

## 自殺者数の推移(年齢、原因・動機別)

平成27年は平成19年と比較して、

○年齢階級別では、「50歳代」が最も大きく減少し、3,067人の減少。  
 ついで、「60歳代」(1,737人)、「30歳代」(1,680人)の順。

○原因・動機別では、原因・動機が明らかなもののうち、「経済・生活問題」が最も大きく減少し、3,236人の減少。ついで、「健康問題」の減少が2,539人と大きい。

○年齢階級別の原因・動機別にみると、「20歳代」は「健康問題」、「30歳代」は「健康問題」と「経済・生活問題」、「40歳代」は「経済・生活問題」、「50歳代」と「60歳代」は「経済・生活問題」と「健康問題」の減少が大きい。  
 なお、19歳以下については、「学校問題」の増加がみられる。

年齢階級別×原因動機別自殺者数(平成19年と27年の比較)

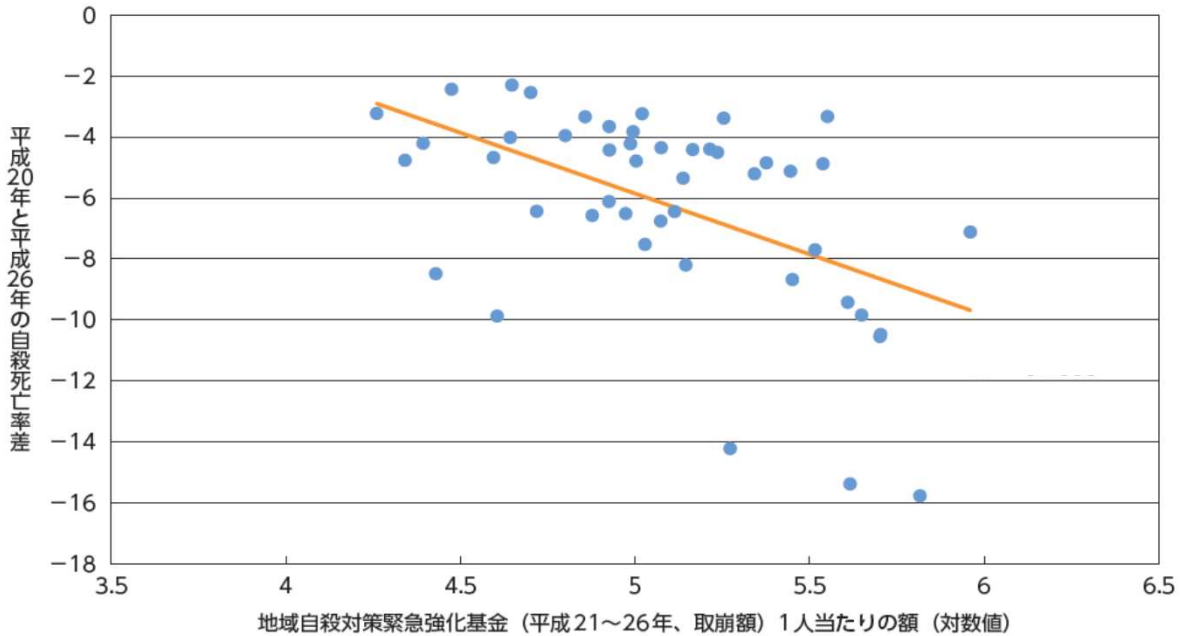
		(人)								
年齢階級	年時等	自殺者数	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳
合計	平成19年	33,093	3,751	14,684	7,318	2,207	949	338	1,500	9,884
	平成27年	24,025	3,641	12,145	4,082	2,159	801	384	1,342	6,044
	増減数	-9,068	-110	-2,539	-3,236	-48	-148	46	-158	-3,840
	増減率(%)	-27.4	-2.9	-17.3	-44.2	-2.2	-15.6	13.6	-10.5	-38.9
19歳以下	平成19年	548	62	153	8	23	54	158	41	170
	平成27年	554	85	115	18	25	36	193	57	155
	増減数	6	23	-38	10	2	-18	35	16	-15
	増減率(%)	1.1	37.1	-24.8	125.0	8.7	-33.3	22.2	39.0	-8.8
20歳代	平成19年	3,309	248	1,277	404	375	335	166	186	989
	平成27年	2,352	296	767	373	437	250	181	147	577
	増減数	-957	48	-510	-31	62	-85	15	-39	-412
	増減率(%)	-28.9	19.4	-39.9	-7.7	16.5	-25.4	9.0	-21.0	-41.7
30歳代	平成19年	4,767	605	1,850	1,009	546	299	10	199	1,401
	平成27年	3,087	521	1,334	579	518	252	9	190	703
	増減数	-1,680	-84	-516	-430	-28	-47	-1	-9	-698
	増減率(%)	-35.2	-13.9	-27.9	-42.6	-5.1	-15.7	-10.0	-4.5	-49.8
40歳代	平成19年	5,096	655	1,829	1,542	539	149	2	198	1,544
	平成27年	4,069	702	1,907	866	578	151	1	201	985
	増減数	-1,027	47	78	-676	39	2	-1	3	-559
	増減率(%)	-20.2	7.2	4.3	-43.8	7.2	1.3	-50.0	1.5	-36.2
50歳代	平成19年	7,046	765	2,836	2,606	538	70	1	280	1,911
	平成27年	3,979	575	1,896	1,079	409	72	0	173	1,027
	増減数	-3,067	-190	-940	-1,527	-129	2	-1	-107	-884
	増減率(%)	-43.5	-24.8	-33.1	-58.6	-24.0	2.9	-100.0	-38.2	-46.3
60歳代	平成19年	5,710	594	2,795	1,375	164	31	1	215	1,736
	平成27年	3,973	583	2,271	786	148	23	0	198	1,025
	増減数	-1,737	-11	-524	-589	-16	-8	-1	-17	-711
	増減率(%)	-30.4	-1.9	-18.7	-42.8	-9.8	-25.8	-100.0	-7.9	-41.0
70歳代	平成19年	3,909	487	2,371	318	20	10	0	188	1,188
	平成27年	3,451	498	2,273	315	35	12	0	190	819
	増減数	-458	11	-98	-3	15	2	0	2	-369
	増減率(%)	-11.7	2.3	-4.1	-0.9	75.0	20.0	-	1.1	-31.1
80歳以上	平成19年	2,488	334	1,569	56	2	1	0	190	732
	平成27年	2,459	381	1,579	65	7	5	0	185	658
	増減数	-29	47	10	9	5	4	0	-5	-74
	増減率(%)	-1.2	14.1	0.6	16.1	250.0	400.0	-	-2.6	-10.1
年齢不詳	平成19年	220	1	4	0	0	0	0	3	213
	平成27年	101	0	3	1	2	0	0	1	95
	増減数	-119	-1	-1	1	2	0	0	-2	-118
	増減率(%)	-54.1	-100.0	-25.0	-	-	-	-	-66.7	-55.4

注)遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としているため、原因・動機別の和と自殺者数とは一致しない。

# 各都道府県における基金事業総額と自殺死亡率の変化について

○大まかな傾向として、人口一人当たりの基金事業総額が多いほど、自殺死亡率が大きく低下している。

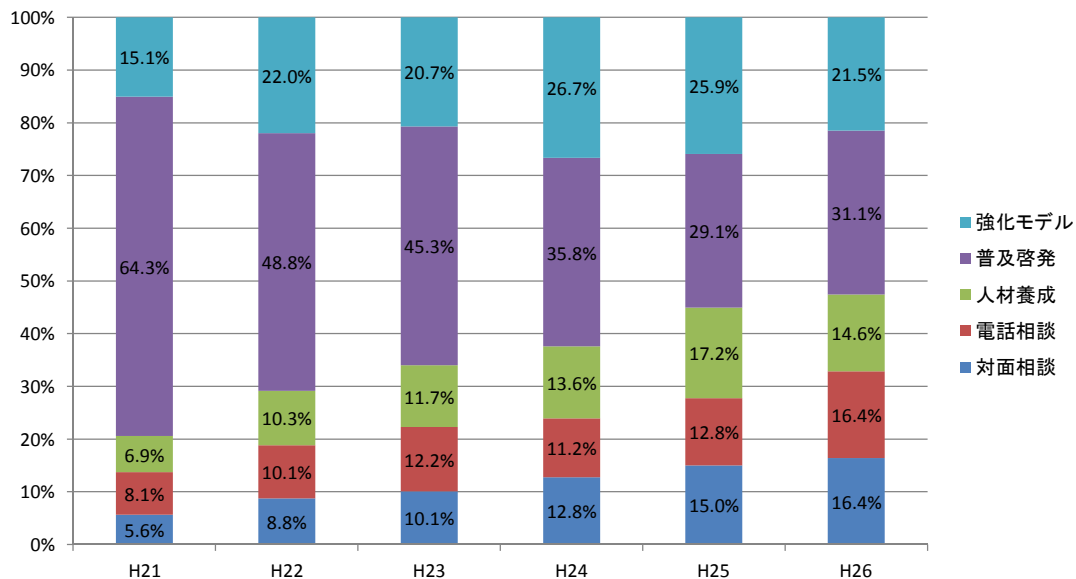
地域自殺対策緊急強化基金（平成21～26年度、取崩額）と自殺死亡率（都道府県別）



資料：内閣府「地域自殺対策緊急強化交付金 都道府県別執行実績」及び警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○普及啓発事業の割合はおおむね年を経るごとに減少する一方で、人材養成事業、電話相談事業、対面相談事業の割合はおおむね増加している。

地域自殺対策緊急強化基金の事業実績のメニュー別の構成割合（都道府県＋市町村）（平成21～26年度）



資料：内閣府「地域自殺対策緊急強化交付金 都道府県別執行実績」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○平成24年以降、毎年、各地域における取組の中から、他の地域の参考となると考えられる事例を取りまとめ、「地域における自殺対策取組事例集」として配布、公表している。